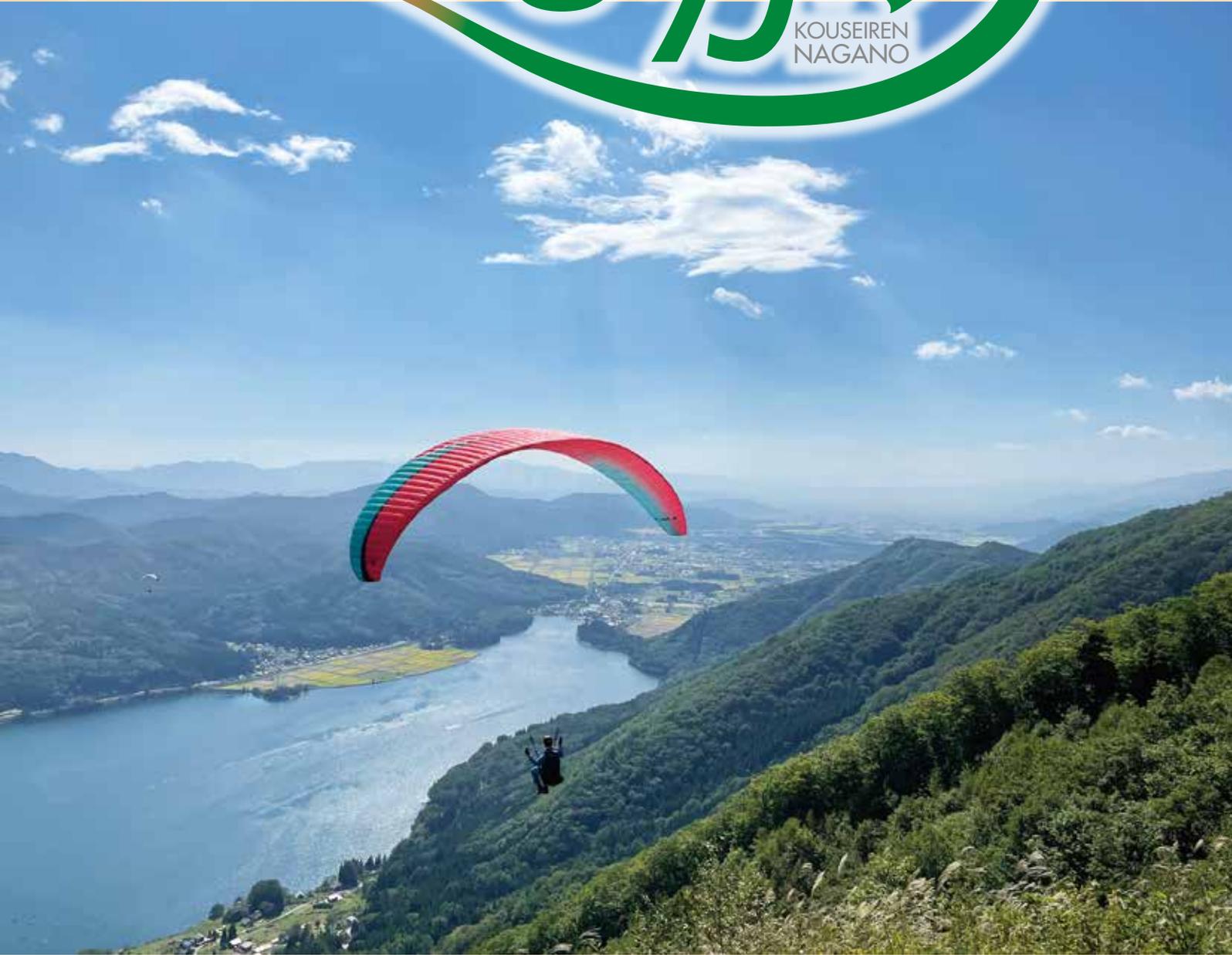


厚生連 **ながの**

KOUSEIREN
NAGANO



Vol. **93** 2022.Oct

「空中散歩」 小林 則康
北アルプス医療センターあづみ病院

- | | | | |
|---|--|----|-----------------|
| 2 | 佐久総合病院 佐久医療センター
低侵襲ロボット支援手術システム ダヴィンチ | 8 | 旬菜堂 |
| 4 | 当院のやさし医、たのし医、くわし医、お医者さん | 9 | 健康相談 Q&A |
| 6 | こちらナースステーション | 10 | 佐久総合病院看護専門学校だより |
| 7 | 介護・福祉のひろば | 11 | トピックス |

 **JA長野厚生連**

長野厚生連

検索 

低侵襲ロボット支援手術システム

ダヴィンチ (da Vinci Xi)

佐久総合病院
佐久医療センター



2022 (令和4) 年5月稼働開始 ~佐久総合病院 佐久医療センター~

低侵襲手術支援ロボットとは

ダヴィンチとは、1990年代にアメリカで開発された手術支援ロボットです。ダヴィンチを使用した低侵襲ロボット支援手術は、患者さんの負担が少ない腹腔鏡手術と同じようにいくつかの小さな切開部を作り、外科医の操作に従って内視鏡・メス・鉗子^{かんし}を動かして行う内視鏡手術です。高画質で立体的な3Dハイビジョンシステムの手術画像のもと、人間の手の動きを正確に再現する装置です。術者は鮮明な画像を見ながら、人の手首よりはるかに大きく曲がって回転する手首を備えた器具(鉗子)を使用し、精緻な手術を行うことができます。

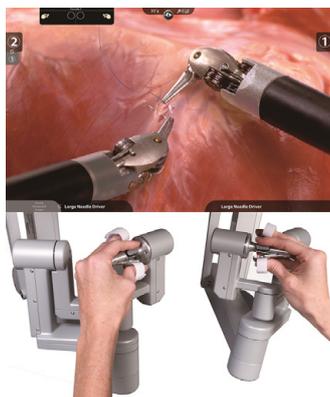


長野県内・近隣の状況

長野県内では5施設で導入されており、当院が6施設目となります。また近隣では群馬県7施設、山梨県4施設で導入されています。
(2022 (令和4) 年8月現在)

佐久医療センターでの導入

佐久総合病院佐久医療センターでは昨年7月からロボット支援手術導入プロジェクトを立ち上げ、運用・体制など検討を重ね、導入に至りました。東信地区では初導入となり、地域の皆さまに最新の治療を提供できるようになります。



術者がコンソール(操縦席)に座り本体を操作します

主な適応手術

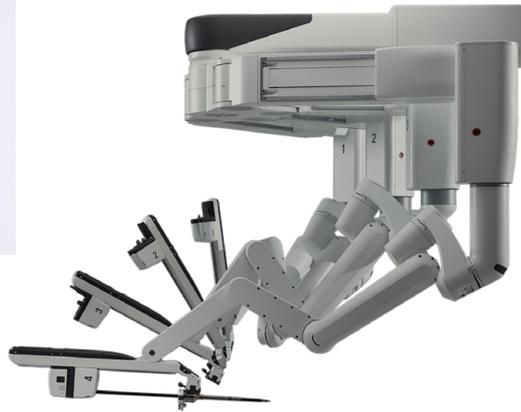
「ダヴィンチXi」では泌尿器領域(前立腺・腎臓・膀胱)、消化器領域(胃・食道・結腸・直腸・肝臓・膵臓)、呼吸器領域(肺・縦隔)、婦人科領域(子宮)などの手術が適応となります。

今年度は前立腺がん・胃がん・肺がん・直腸がんの手術を行なっていきます。次年度以降に新たな部位・領域の手術を行える体制を準備していきます。



鉗子

クリップより小さい鉗子を用いて、より緻密で正確な手術を行えます。



ダヴィンチは どんな医療機器？

ペイシェント カート

4本のアームからメスや鉗子などが操作されます。サージョンコンソールから執刀医の手技がリモートでアームに連動し、人の手では不可能な狭い視野での複雑な動きを可能としています。手ブレ補正機能が搭載されており、安全性の高い正確な手術が期待できます。

サージョン コンソール

執刀医が座る操縦席です。手術部位を3D画像で鮮明に見ることができ、手元のコントローラーでロボットアームに装着した内視鏡・メス・鉗子进行操作します。



ビジョンカート

ペイシェントカートから送られてくる画像から3D画像を作成します。術者は患部を拡大視野でとらえることが可能となり、手術室スタッフは手術の進行を確認することができます。



泌尿器科ダヴィンチチーム

泌尿器科医師、麻酔科医師、機器のメンテナンスを行う臨床工学技士、手術の準備や補助をする看護師、機器の洗浄を行う滅菌室スタッフで構成されています。これからチーム一丸となって治療にあたっていきます。

ロボット支援手術導入プロジェクト

リーダー 診療部長 えんどう ひでき 遠藤 秀紀

事務局 経営企画課

本所職員が医師へインタビュー

当院の

やさし医、たのし医、くわし医、

お医者さん

長野松代総合病院附属
若穂病院



今回は、長野松代総合病院附属若穂病院の熊木俊成院長にお話を伺いました。

Q1 出身地はどちらでしょうか。また、長野県に来た理由を教えてください

出身は東京都練馬区の大泉学園です。東映の撮影所が近くに



JA長野厚生連
長野松代総合病院附属若穂病院 院長

くまき としなり
熊木 俊成 先生

〈職歴・研究歴〉

1988（昭和63）年信州大学医学部卒業
専門分野：消化器、肝・胆・膵外科、消化器化学療法、外科一般
日本外科学会認定医／日本消化器外科学会認定医／日本人間ドック学会認定医／日本医師会認定産業医

あります。長野県に来た理由は、大学を信州大学に選んだということなんです。もう40年になるので、土着民のようになっていきます。東京出身だと話すと皆に驚かれます。逆に「長野県出身でしょ？」と言われるくらい馴染んでいます。

Q2 医師をめざしたきっかけを教えてください

母の兄が医者だったというのもありましたが、それ以外に「レ・ミゼラブル」を読んで、優しい人間になりたいと思ったことです。優しい人間になるために僕が一番適していると思え

る職業は医者かなと思います、医者をめざしました。

子どもの頃は、設計や建築に少し興味があり、医師でなければ建築家になりたいと思っていました。

Q3 患者さんや普段の治療に際して心がけていることはありますか

もともととは外科医として長野松代総合病院で働いてきました。そのときは抗がん剤治療や手術などを行なってきましたが、若穂病院に移ってからは総合内科の医師として、患者さんの生活ができるだけ改善するようにと、リハビリや治療を考え

ています。外科医として行なっていたことはかなり違う状況になっていきますが、患者さんにとって優しい医療とはどんなことかなと考えながら、日々の診療をしています。

もともとは外科医（消化器外科）として診療を行なってきましたが、若穂病院に異動してからは総合内科として病院全体を見る立場になりました。

若穂病院は医療療養型の病院として地域には必要な病院だと思いますので、地域に貢献できる病院として、次の世代に贈るという意味でも、しっかり残していきたいと考えています。

趣味は山登り（信州大学医学部山岳部のOB会長として常念診療所の運営に携わってきました）・建築全般（建築関係のことなら何でも）。



▲内視鏡検査

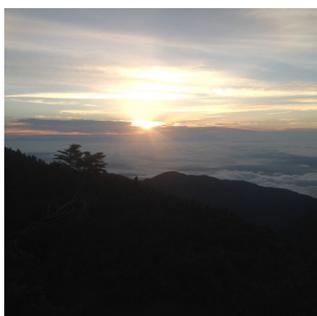
Q4 めざしている 病院像について

若穂病院は、急性期病院の治療が終わった患者さんを受け入れて、自宅に帰る、あるいは施設に行くまでの橋渡しをする後方医療機関です。今、長野市にはそのような病院が少なく、受け入れ先が見当たらない状況で、当院のような機能を持った病院は、これからの時代に非常に大切な病院ではないかと思えます。できるだけ地域に貢献できるように、また患者さんの受け皿としても、病院として頑張っていきたいと思えます。いろいろな医療制度の改革に翻弄されている状況で頑張っていますが、経営的には非常に厳しい状況です。ただ、地域にとって、長野市にとって、必要な病院として頑張っていきたいと思っています。

Q5 趣味を教えてください

「山登り」です。昔からワンダーフォーゲルに興味があり、信州大学の「松本ワンダー

フォーゲル」に所属していました。「松本ワンダーフォーゲル」は他大学の山岳部並みに冬山登山などをやっています。大学のサークルなので他学部の学生は4年で終わりますが、医学部は6年生までありますので、在学中は夏に「北アルプス南部常駐隊」という山岳パトロールをしていました。そのこの隊長に僕は「クマ」と呼ばれていて、隊長から「クマ、なんで信州大学には診療所がないんだ」と言われ、診療所を作るにはどうすればいいのか模索しは



▲常念から見た日の出



▲朝焼け



▲夏山

じめました。診療所を作るためには医学部に山岳部がなくてはいけないということで、信州大学医学部に山岳部を立ち上げました。その後、外科や脳神経外科の教授、内科の教授などにも協力していただき、学生主体の運営で常念診療所を開設しました。今でもシーズンの最初に開ける時と閉める時は、山岳部のOB会長として診療所の手伝いに行っています。

もうひとつは「建築」です。中学生の時にトレースクラブに入っていました。設計図をトレースするクラブです。建築の

設計図をそのまま写すと、設計図の細かい所などがどうなっているのか、構造がよく分かって非常に勉強になり、建物に興味が出ました。インターネット上で建築の話が出てくるとがっついてその内容を読み込んだりしています。本も買ったたりしていますし、建築は面白いです。ただのオタクです(笑)。

地域の方へ一言お願いします

これからもこの地域にとって必要な病院として、次の世代に渡せるように頑張っていきたいと思えます。皆さんとともにある病院なので今後ともよろしくお願ひします。

インタビューの一言

趣味の話になると「ずっとしゃべっちゃよ」と話していましたが、仕事に関してもとても熱心な姿が伝わってきました。毎年人間ドックではお世話になっておりますが、今年度もよろしくお願ひします。お忙しいところありがとうございました。



こちら ナースステーション

下伊那厚生病院



下伊那厚生病院

下伊那厚生病院 3階病棟
看護副主任
認知症看護認定看護師



谷川奈都子

認知症看護は看護の原点

私の祖母は、認知症で徘徊をして警察のお世話になることが何度もありました。当時看護師になったばかりの私は、どうしても認知症になった祖母を受け入れることができずに、冷たい対応をしてしまいました。看護師になって10年が経過した頃も認知症患者さんに対し、指示に従ってもらえない人という偏見を持っており、また、ルーティーン業務のみをこなす毎日に心が擦り切れ始めていました。そこへ訪問看護への部署異動が命じられたのです。

訪問看護師として在宅に何うと、病棟とは違う認知症の患者さんを目のあたりにしました。在宅では病棟にはない穏やかに生活している姿があったのです。この違いは何だろうと疑問に思いながらも、祖母を受け入れられなかったことや病棟での認知症患者さんへの関わりが苦手だったことから認知症看護に抵抗感がありました。当時の看護部長は、そんな私を知って「認知症看護認定看護師」を勧めてくれたのです。思い返せば看護学生だった頃は、「痴呆」という名前で今ほど詳しく学ぶことはありませんでした。私は、家族の応援もあって学び直そうと認定の道を選びました。実習では一人の患者さんと向き合う時

間が多く、今までの自分がいかに一人ひとりの患者さんと丁寧に向き合っていなかったかということに気づきました。認知症を理解し認知症の人の人生を知ること、そして、その人らしさを見出しケアに繋げることの大切さを学びました。認知症ケアは看護の原点「その人の視点、その人の立場に立って考える」そのものだと思います。

今なら、祖母が徘徊することも受け入れられ寄り添うことができると思います。



▲患者さんと語りながら処置を素早く終わらせる谷川さん



3階病棟 師長

瀬ノ内順子

紹介者
から

谷川さんが認知症看護認定看護師となり、早4年が経ちました。その仕事ぶりを見ていると、ハッとする場面があります。それは、入院直後は無口だった徘徊が多い認知症患者さんが、自分の思いを訥々と話し始めている姿でした。

患者さん本人や家族から、今までの人生の情報を得たうえで、徘徊状況と照らし合わせ、患者さん本人が何をしたいのかを考えながら、本人の思いを引き出していることを教えてもらいました。

この谷川さんの患者さんに接する姿勢により、徘徊を困りごととして捉えていた私自身やスタッフも、認知症の患者さんに接するために学ぼう、その人の立場に立って考えようという行動に向き始めています。

医療体育科の取り組みを

紹介します

鹿教湯三才山リハビリテーションセンター



鹿教湯三才山リハビリテーションセンター
地域医療部
医療体育科 主任補佐
(健康運動指導士) **おかだ かつや 岡田 克也**

●医療体育とは？

医療体育は心身の障がいのある人・心身機能が低下した人などを対象とし、体育・スポーツの手段を用いて、体力の向上、健康の維持・増進、生活の質（QOL）向上のための支援を行なっています。JA長野厚生連では当院にしかない科で、介護予防や健康増進活動の取り組みを積極的に行なっています。

●現在の活動

① 通所型サービスA

介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）の一つで市町村が実施主体となり、2017（平成29）年から開始されました。運動機能向上、栄養改善、口腔ケアなど介護予防を目的とした活動を中心に、日常生活の支援やレクリエーションを加えたミニデイサービスを行います。

② 地域リハビリテーション事業

通所型サービスAと同様の総合事業の一つで、地域の方たちが中心となり、自治会の公民館などで健康づくりのための運動や体操、レクリエーションなどを行う活動に、私たちが講師となり支援する活動を行なっています。

③ JAの健康教室

JA信州うえだからの依頼を受け、健康教室を多数行なっています。地区によって毎月または時期に合わせての開催になりますが、テーマはさまざまで、膝痛予防体操、有酸素運動、リズム体操やパラリンピックの正式種目にもなっているボッチャも行なっています。



地域リハビリテーション事業の様子

鹿教湯三才山
リハビリテーション
センター



●健康運動指導士

としての役割

私たち健康運動指導士は、安全で効果的な運動を実施するための運動プログラム作成などを行なっており、最近では病院、老人福祉施設、介護保険施設など介護予防事業で活躍している方の増加が目立っています。本会では健康運動指導士は少なく貴重な存在です。今後も進む高齢化社会において、生活習慣病予防や病気にならないための身体づくりをするとともに、元気で長生きできるように健康寿命の延伸など、地域での介護予防・健康増進活動を普及していきたいと考えています。また、健康運動指導士をたくさんの方に知っていただけるように活動していきたいと思っています。



個別指導の様子



J A長野厚生連は、地産地消に積極的に取り組んでいます。

富士見高原
医療福祉センター



富士見高原病院
管理栄養士

やまもと し の
山本 紫韻

今回の主たる食材

れんこん

通年見かけるれんこんですが、旬は収穫が始まる9月～3月頃になります。この時期のれんこんは甘みと粘り気があります。

食材の栄養価と特徴

ポリフェノールやビタミンCで、栄養満点

れんこんの主成分はでんぷんです。また、約80%が水分でできているため栄養がないと思われがちですが、ビタミンC、食物繊維が豊富なためしっかりとした栄養があります。

さらに、れんこんを切ると黒く変色する原因は、ポリフェノールの一種であるタンニンが含まれているためです。タンニンは、止血作用や炎症を抑える働きがあるため、胃腸のトラブルにも効果が期待できます。

れんこんの栄養価
(可食部 100g 当たり)

エネルギー：66kcal

ビタミンC：46μg

食物繊維：2.0g

レシピ

れんこんシュウマイ

当院でも実際に患者さんに提供しているレシピです。

れんこんを加えることにより、モチモチとした食感になるので普通のシュウマイよりもひと味違った楽しみがあります。

1人分の栄養量

エネルギー：214kcal

たんぱく質：20.9g

脂質：9.2g

ビタミンC：46μg

食物繊維：2.8g



材料
(2人分)

●れんこん	120g
●豚挽肉	80g
●玉ねぎ	35g
●片栗粉	3g
●醤油	3.2g
●ごま油	3.2g
●塩	0.6g
●シュウマイの皮	8枚
●からし	2g
●サラダ菜	2枚
●ミニトマト	2個
★醤油	適量
★酢	適量

作り方

- ①玉ねぎはみじん切り、れんこんはすり下ろして水気を切っておく。
- ②ボウルに①、豚挽肉、片栗粉、醤油、ごま油、塩を加えて混ぜる。
- ③シュウマイの皮に②を詰め込み、蒸す。
- ④火が通ったら、お皿にサラダ菜を敷いて盛り付ける。ミニトマトを添える。からしはシュウマイの上に乗せる。
- ⑤★の調味料を小さい器に入れて完成。

調理のPOINT!

すり下ろしたれんこんの水気を切るとき、しっかりと水気を切ることでお肉がよりまとまりやすくなります。酢醤油とは別に、ポン酢で召し上がっていただいても美味しいですよ！

健康

浅間南麓こもろ医療センター
歯科口腔外科 歯科衛生士



浅間南麓
こもろ医療センター



相談

ない どう れ み
内藤 麗美

「歯ブラシの選び方と交換時期」

歯のお手入れの定番アイテムといえば、「歯ブラシ」。歯を健康に保つためには欠かせないものですが、使っていくうちに劣化が進み、歯磨き効果も次第に落ちていきます。古くなった歯ブラシは適切なタイミングで交換する必要がありますが、その交換のタイミングについて、「いつ」とは、はっきりわかりづらいかもしれません。今回は歯ブラシの選び方と交換の時期について簡単に紹介したいと思います。

Q1. どんな歯ブラシが良い？

A: <毛の硬さ>

やわらかめ～ふつう

歯や歯ぐきの状態によって違うので、歯科医や歯科衛生士にご相談ください。

<毛束>

3列タイプが磨きやすい

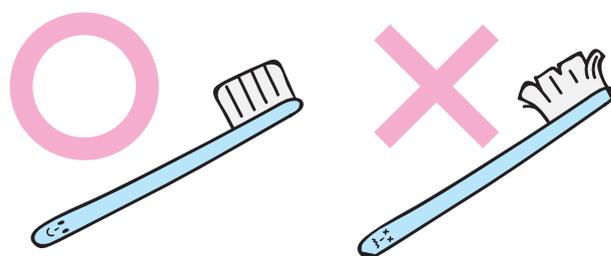
<ヘッドの大きさ>

ちいさめ

ストレートのタイプ

Q2. 毛先の開いた歯ブラシを使うと…？

A: 毛先が開いた歯ブラシではどんなに正しくブラッシングしても、磨いているようで実は磨けていません。さらに、開いてしまった毛先が歯ぐきにあたることで歯ぐきが退縮し、露出した歯の根元から虫歯になることもあります。



Q3. 歯ブラシの交換時期は？

A: ★歯ブラシの交換目安は
およそ**1カ月!**
(1日3回のブラッシング)



★歯ブラシの後ろから見て、毛先がヘッドの台座よりもはみ出して見えるようになると取り替えのサインです。毛先の開いたものは、早めに交換しましょう。

★1カ月もたたないうちに毛先が開いてしまうのは、ブラッシングに力を入れすぎです。軽い力で磨きましょう。

★歯ブラシはいくら洗って乾燥させたとしてもブラシの毛束の根元には菌が繁殖しています。物持ちが良いというのは良いことですが、歯ブラシに限っては当てはまりません。虫歯や歯周病を予防するためには、道具の管理もしっかりと行なっていきましょう。



本校の特色や学習環境についてご紹介します。ぜひ、ともに学びませんか。

本校の特色

1 長野県内厚生連病院への完全就職

2 JA長野厚生連奨学金制度で
在学中の経済的負担軽減

3 佐久病院グループ施設を中心に、県下
最大規模の充実した環境で実習が可能

4 寮や自校給食で
学生生活を完全サポート

新しい学習環境に関する取り組み

① 独自のカリキュラム

今年度入学生から新しいカリキュラム（教育計画・課程）となりました。このカリキュラムでは、地域の人々の暮らしに密着した看護をめざすことを目的として、人の一生を考え、たうえで連続的・継続的な看護実践に結び付けられる学習内容としました。また、どの科目も自主性とコミュニケーション能力向上に繋がる工夫をしています。



医療機器の説明を受けている様子



② 一步進んだ看護教育に関する 電子通信技術の活用

パソコンなどを用いて電子教科書使用や学習成果の可視化、教員との対話など通信技術を教育に活用し、質の向上や教員と学生間のコミュニケーションツールとして利用していきます。

授業のアンケートにスマホで回答する学生

③ きめ細かな教育実践と万全なサポート体制の構築

教員が少数の学生に対してきめ細かな指導・教育体制に加え、学年を超えて仲間を支え合う体制を確立し、自主性と協調性を育てていきます。学習面だけでなく、生活面での相談など、学生が困ったときにいつでも相談しやすい環境を整えています。

お問い合わせは

佐久総合病院看護専門学校
電話 0267-82-2474
メール sakukan@sakuhp.or.jp

2023(令和5)年度 入学試験の概要

一般 I期
2022(令和4)年12月1日(木)～
12月8日(木) (消印有効)

詳しくは、ホームページを
ご覧ください。



カーボンニュートラル賞を受賞しました

浅間南麓こもる医療センター

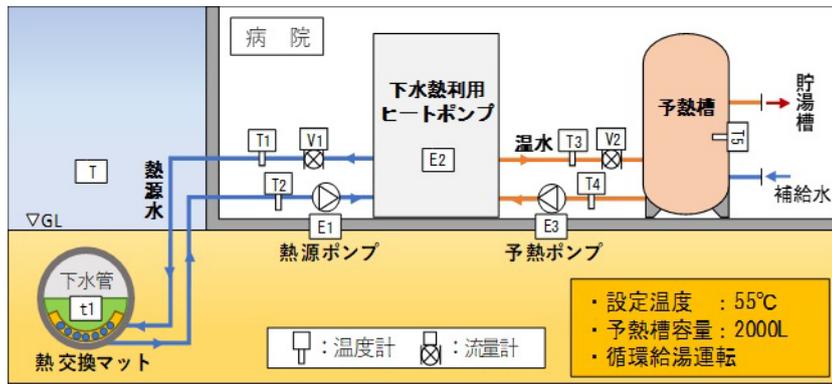


国は「2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言し、脱炭素カーボンニュートラル化に向けて動き出しています。

受賞の概要は、小諸市の「小諸市低炭素なまちづくり計画」の理念に基づき、当院と小諸市庁舎の再構築において、エネルギーサービス（ES）事業者を公募し、エネルギーの総合利用など、エネルギーを効率的に運用して低炭素をめざした事業が評価されました。

省エネルギーの取り組みとして、当院の病室には樹脂サッシ+LOWEガラスを採用したことによる断熱効果、熱エネルギーは下図のように下水管の熱交換マットから下水熱を採熱し利用することで、ガスや石油による燃焼方式に比べCO₂排出量を削減しています。

また、電力は市庁舎と一括受



電することで受電量の低減になっています。

災害対応訓練を実施しました

北信総合病院



当院では、平時から災害初動体制を迅速に整えるため、職員を対象とした訓練を定期的を実施しています。今年度は9月24日に約70人の職員が参加し、机上と実動の二部構成で訓練を実施しました。

第一部は、発災初期の医療体制の構築と災害対応力の向上を図る目的で、県北部を震源とするM7・8の大地震が発生した想定での机上訓練を実施しました。既存のマニュアル、BCP（事業継続計画）に基づき、災害対策本部の設置、被害想定に対する優先対応事案の決定と対



▲災害対策本部の様子



▲院内の酸素供給が停止した場合を想定した実動訓練の様子

応法、現場からの課題抽出と検証を行いました。

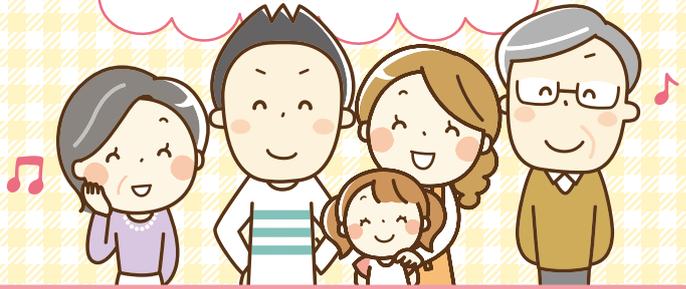
第二部は、院内の酸素供給が停止した場合を想定した実動訓練を実施しました。昨年度から院内各所に配備された7000ℓの大型酸素ボンベや接続器具を実際に使用し、安全に接続する手順を確認しました。発災初期には、平時の業務とは異なる大量の応急対策業務が発生し、その一つひとつが患者さん、地域医療に直結するため迅速な対応が要求されます。そのためにはさまざまな被害状況を想定した定期的な訓練が重要です。

今後も災害拠点病院として、平時から地域住民の皆さまの医療を守る取り組みを進めてまいります。

コロナ禍でも健診受診は必要です



みなさん健康診断の受診を控えていませんか？



定期的な健康診断（検診）の受診は、がん・心筋梗塞などの生活習慣病や結核の発見につながります。自覚症状が現れにくい病気も少なくありません。特にコロナ禍では生活リズムが崩れ、体調管理が難しく、健康診断を受診することでご自身の健康を確認することができます。

また、健診機関においては「密」にならないよう受診者の間隔への配慮や、検温や消毒などの感染防止に努めています。みなさんの健康につながる健康診断をぜひとも受診ください。

医師募集

私たちと一緒に、
地域医療を実践しませんか。



長野県は低医療費・長寿で有名です。本会は県下に14病院を有し、救命救急センターや周産期母子医療センター、がん診療連携拠点病院などさまざまな指定を受け、保健・医療・福祉活動を包括的に展開し、その一翼を担っています。信州の自然豊かな環境のなかで、四季折々の変化を存分に感じながら、一緒に地域医療を実践しませんか。

看護師募集

夢が実現できる
看護職のキャリア形成を
支援します!!



- 新人看護職の卒後研修が充実しています
- 再就職支援をさまざまな形でなっています
- 院内保育所や育児介護支援制度などがあります
- 認定看護師など資格取得を支援します

薬剤師・医療技術職 随時募集中

地域医療を担うメンバーとして
共に歩んでみませんか

お問い合わせは下記または各病院まで

JA 長野厚生連 人材確保対策室 人材確保対策課

〒380-0826 長野県長野市南長野北石堂町1177番地3 (JA長野県ビル10階)

☎026-236-2305 E-mail:saiyo@kou.nn-ja.or.jp FAX:026-236-2307



JA長野厚生連
facebookのご案内

当会の活動や情報など、
随時情報発信しています。
ぜひ、ご覧ください。

編集後記

暑い夏から一気に秋の装いとなりました。標高の高い山では紅葉が始まり徐々に里山へ降りてきますが、毎年秋になると山々の色のコントラストを楽しみながら過ごしています。今年はどのような姿を見せてくれるのか、今から楽しみです。(A・Y)

「厚生連ながの」の感想をお聞かせください。

JA長野厚生連 本所「厚生連ながの」係
〒380-0826 長野県長野市南長野北石堂町1177番地3 (JA長野県ビル)
FAX: 026-236-2307
E-mail:info.honsyo@kou.nn-ja.or.jp

表紙のひとこと

「空中散歩」

撮影者:北アルプス医療センターあづみ病院

こぼやし のりやす
小林 則康



大町市の小黒山から飛び立つパラグライダーです。

眼下には、木崎湖、大町市の街並み、北アルプスも一望できるそうですが、陸地からは想像できない壮大な景色なのでしょう。湖面にはモーターボートが走っており、自然に囲まれた地ならではの光景です。

<http://nagano-kouseiren.jp>



● 佐久総合病院 ☎0267-82-3131
● 佐久医療センター ☎0267-62-8181
● 小海分院 ☎0267-92-2077
● 浅間南麓こもろ医療センター ☎0267-22-1070
● 北アルプス医療センター
● あづみ病院 ☎0261-62-3166

● 長野松代総合病院 ☎026-278-2031
● 附属若穂病院 ☎026-282-7111
● 北信総合病院 ☎0269-22-2151
● 鹿教湯三才山リハビリテーションセンター
● 鹿教湯病院 ☎0268-44-2111
● 三才山病院 ☎0268-44-2321

● 南長野医療センター
● 篠ノ井総合病院 ☎026-292-2261
● 新町病院 ☎026-262-3111
● 富士見高原医療福祉センター
● 富士見高原病院 ☎0266-62-3030

● 下伊那厚生病院 ☎0265-35-7511
● 長野PET-画像診断センター ☎026-269-0550
● 健康管理センター ☎0267-82-2677
● 佐久総合病院看護専門学校 ☎0267-82-2474
● JA長野厚生連 本所 ☎026-236-2305